

# AKAYA PROJECT

赤谷プロジェクト地域協議会／(財)日本自然保護協会／赤谷森林ふれあい推進センター

## 赤谷の森だより

トピックス：関東森林管理局 計画保全部長 寺川 仁  
2013みなかみオンパク(ココイラ)にパートナーとして初参加!



2013.12.01

vol.24

赤谷の森でわかったこと

「赤谷の森でニホンジカが  
増えたらどうなるか?」

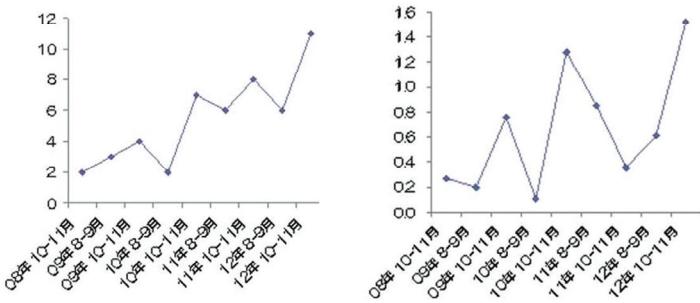
東京農工大学教授 梶光一



タマゴダケの成長の様子。卵の殻を割ったように伸びて行きます。

# 赤谷の森でわかつたこと

## 赤谷の森でニホンジカが 増えたらどうなるか？



赤谷の森 51 地点に設置した自動撮影カメラ調査の結果（2008–2012）  
ニホンジカが撮影された地点数（＊グラフ左）、撮影された頻度（＊グラフ右）  
とともに増加傾向にある。



梶光一

東京農工大学教授  
赤谷プロジェクト哺乳類WG座長



私たち、赤谷の森の変化を把握するために、2008年から51地点で自動撮影カメラによる調査を続けています。すると、撮影地点の拡大とともに撮影頻度の増加がみられ、ニホンジカが少しづつ増加していることが示唆されます。そもそも、ニホンジカは北海道から九州まで日本中に広く分布していましたが、20世紀初頭の過剰捕獲によって、個体数と分布を減らしたと思われます。赤谷の森にも、少なくとも江戸時代よりも

今までニホンジカがもつとたくさんいたと考えられます。では、このままニホンジカが増えるとどうなるのでしょうか？私が、北海道の洞爺湖中島で行つた調査では、エゾシカが年率16%で増加したことがあわかつています。1979年にササやイネ科の草で覆っていた草原は、3年後の1982年には、シカが食べない幾つかの植物が残るだけの状態になってしまいました。そして、食べ物が無くなつたシカは1983～84年の冬期に大量に死亡しました。

現在、赤谷の森はニホンジカの影響がほとんどみられない良い状態にあります。しかしながら、今後、ニホンジカを増やすための対策を行わなければ、この状態を維持できな

い可能性が高いと言えます。今年度、哺乳類WGでは、二ホンジカが少ない状態を維持する対策について検討しています。今後、町内の皆さんのが協力も頂きたいと思います。

# トピックス

寺川 仁  
●関東森林管理局 計画保全部長  
本年7月から関東森林管理局に赴任しました寺川です。広島生まれで京都育ち、林野庁のほか九州と北海道の勤務経験はありますが関東森林管理局の勤務は初めてです。

いわゆる赤谷プロジェクトが始まって今年で10年目になり、発定以来の経緯などは6月に発行された「赤谷プロジェクトの歩み－第1期－」にまとめられています。この冊子を読むと、生物多様性を科学的な根拠を持つて保全・復元することを目指して膨大な調査研究が行われていることに頭が下がる。同時に、森林相手の仕事は長い目で見る必要があり、10年経ったといえどもまだまだこれからで、今後も継続的で地道な調査活動が必要であると感じられます。しかし一方で、長期間を要するプロジェクトでも、常に成果を世に出し続けなければ存在意義が認められにくくなつていくことが

あります。

また、昭和22年から続いている国有林事業特別会計が本年4月に廃止され、国有林事業は一般会計で運営されることとなりました。一般会計化後の国有林野事業は、民有林施策と一緒に、公益重視の管理経営の一層の推進、森林・林業再生への貢献、「国民の森林」としての管理経営、地域振興への寄与等にさらに力を入れることとしています。赤谷プロジェクトはこれらの観点からもプロジェクトを見つめ直し、推進して行かなければならぬと思います。

センターの職員も10月に来た新所長を含めがんばっています。今後とも地域協議会、日本自然保護協会の皆様と手を取り合ってプロジェクトを進めていきたいと考えておりますのでよろしくお願ひいたします。



寺川 仁

ら、常にアピールを続けなければなりません。その他に、このプロジェクトが地域の振興にどのように寄与できるのかという大きな課題もあります。

また、昭和22年から続いている国有林事業特別会計が本年4月に廃止され、国有林事業は一般会計で運営されることとなりました。一般会計化後の国有林野事業



## 2013みなかみオンパク(ココイラ)にパートナーとして初参加!

みなかみオンパク（ココイラ）とは、地元の人が地元の人を案内して、みんながこの町を大好きになるための小さなプログラムの集まりで、温泉地として地域の活気とつながりを再生するまちづくりイベントです。



ネイチャークラフト教室

スギの木片（かけら）やヒノキの球果を利用して、オリジナルストラップを作成しました。



センカメ仙人と行く赤谷の森

自称「センカメ仙人」と赤谷プロジェクトサポーターと旧三国街道三坂線～三坂茶屋を散策しました。



赤谷の森の恵みでカスタネットをつくろう！

みなかみの赤谷の森で育った木を使って、カスタネットを作りました。



一眼レフカメラ講座・森の魅力を撮ろう！

大坪信二さん（元ニコン塾講師）を講師に迎えて実践的なカメラ講座を開催しました。

## 赤谷プロジェクトに関する イベント予定

イベント名	実施日	主 催
赤谷の森自然散策「冬の観察会と紙芝居！」	2/8	赤谷森林ふれあい推進センター
赤谷プロジェクト活動報告会（みなかみ町内：場所未定）	2/16	赤谷プロジェクト
開校記念スクール 2014年冬「雪の赤谷の森が熱いぞ！」	2/22～23	赤谷の森学校
赤谷の日（いきもの村外）	3/1	地域協議会（担当）
赤谷プロジェクト10周年シンポジウム（東京都内：場所未定）	3月下旬	赤谷プロジェクト

※イベントの詳細等は、準備ができしだい赤谷森林ふれあい推進センターHPで掲載致します。

## お知らせ

### ●財日本自然保護協会の人事異動

H25.9.1

- 保護・研究部 総括部長→志村智子
- 保護プロジェクト部長 志村智子→朱宮丈晴（総合プロジェクト部門部長）

### ●関東森林管理局の人事異動

- 赤谷森林ふれあい推進センター所長 廣橋 潤（退官H25.9.30）→藤澤将志（H25.10.1）



色々な活動をしているよ!

## 赤谷プロジェクトの活動

# トピックス



H25.8.3

地域の皆様に、赤谷プロジェクトの取組を楽しく体験できる機会として、5つのプログラムを用意した「赤谷の日祭り」を開催しました。



H25.8.24

猿ヶ京温泉赤谷湖上花火大会のイベントで、ネイチャーフラフト体験を実施しました。ぐんまちゃんも遊びに来てくれました。



H25.9.7

akayaカフェ～第1回谷川連峰のささっぱら～「五郎兵衛やかた」において、開催しました。話題提供：亀山章（東京農工大学名誉教授・景観生態学）



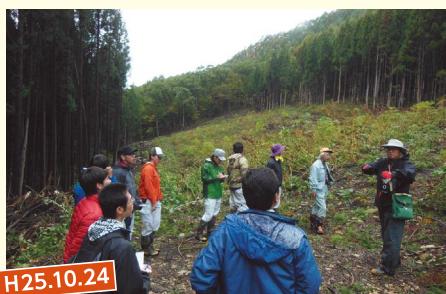
H25.10.1

新治小学校6年生「秋の遠足」  
群馬県三坂線入口から新潟県側まで、旧三国街道の歴史や自然を観察しながら歩きました。



H25.10.2

沼田北小学校5年生「森の探検ウォーキング」  
無線機や双眼鏡等を使用して、4つのポイントをまわりながら、森の動植物について学習しました。



H25.10.24

群馬県農林大学校「森林管理実習Ⅱ」  
赤谷プロジェクトの目的である、生物多様性の復元と持続的な地域づくりの取組を学んでいただきました。



H25.10.27

「赤谷の森自然散策 第2回」みなかみ町と共に開催により、錦秋に染まるブナ・ミズナラの旧三国街道の散策を行いました。楽しんでいただけましたでしょうか。



H25.10.30

「利根実業高等学校校外学習」グリーンライフ科の2年生を対象に自然環境や保護活動に対する知識を深め、今後の学習に役立てることを目的に環境教育を実施しました。



H25.11.6

「環境省自然保護官等研修Ⅲ」環境省環境調査研究所（所沢市）にて、自然保護官等を対象に赤谷プロジェクトの取組を第三者協働で紹介してきました。

## 赤谷プロジェクトって？

赤谷プロジェクトは、人と自然の共生と持続可能な地域づくりをめざして活動しています。地域、自然保護団体、国有林管理者という立場の異なる三者が共に活動するという、全国的にもめずらしい取り組みです。

活動地域は、群馬県みなかみ町北部、新潟県との県境に広がる約1万ha（10km四方）の国有林。ほぼ中央に赤谷川が流れることから「赤谷の森」と呼んでいます。

植物や生きものの調査・研究、環境教育、研修の受け入れなど、活動はさまざま。毎月第一土曜日に行われる「赤谷の日」には、県内外のサポート者が調査や体験学習などを行っています。どなたでも参加できますので、お気軽に問い合わせ下さい。

※トピックスの詳細は

[赤谷森林ふれあい推進センター](#)

検索



## 赤谷プロジェクトサポーター募集！



赤谷プロジェクトは、一緒に活動に加わっていただけるサポートを募集しています。活動の中で研修の機会を豊富に用意しているため、自然や野外活動の知識や経験がないと心配される方も、学びつつ活動に参加できます。

### お問合せ先

日本自然保護協会：出島・藤田

赤谷プロジェクト地域協議会

TEL 0278-66-0888

代表幹事 林 泉

メールアドレス kawafuru0888@gmail.com

(財) 日本自然保護協会

TEL 03-3553-4107

プロジェクト担当 出島 誠一

<http://www.nacsj.or.jp/akaya/index.html>

メールアドレス akaya@nacsj.or.jp

林野庁関東森林管理局  
赤谷森林ふれあい推進センター

TEL 0278-60-1272

所長 藤澤 将志

[http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/kanto/akaya\\_fc/index.html](http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/kanto/akaya_fc/index.html)

メールアドレス akaya\_postmaster@rina.maff.go.jp